



NPO PTPL “節氣” 便り No14

■ 霜降（そうこう）号（2012年10月23日発行）

私が住んでいる小さな町の小さな商店街が、今ハロウインの飾りであふれています。古くからある和菓子屋さんのウィンドウには、ジャック・オ・ランタンをイメージした和菓子が飾られています。というのも10月27日（土）に、「ハッピー ハロウイン」というイベントがあるからです。クリーニング屋、古着屋、焼き鳥屋、花屋、整体医院など、店頭にかぼちゃマークが貼ってある店に仮装して行き、「トリック オワ トリート」というとお菓子をもたらえるのです。毎年すごい人気で、400枚ある参加券はあっというまに売り切れてしまいます。ちなみに1枚100円。当日は子どもだけではなく、大人まで仮装して町をうろうろ。コンビニで魔女が肉まんを買っている姿は愉快です。ハロウインの起源は新年を迎える前に悪霊を追い払った古代ケルトの祭りです。詳しくはともいき暦10月31日をご覧ください。由来を知ると、もっと楽しめると思います。<http://www.tomoiki.tv/calendar/>

それにしても、めっきり涼しくなりました。季節は確実に晩秋へと流れています。スーパーの果物売り場には、梨、柿、ぶどう、りんごなどおいしいような果物が売られています。秋の果物。「秋果」。10月の季語の一つです。

最近、「あけび」もきれいにラッピングされて果物売り場に並ぶようになりました。森のおやつだと思っていたら、いつのまにか都会にも登場するようになったようです。品のいい紫色とすっきりした形。森で初めて食べたとき、種があまりにも多くて、美味しさを味わう余裕がありませんでした。その後、1度も食べたことがありません。最近皮も料理に使えるそうなので、「あけび」の食べ方をご存知の方がいらっしゃったら、ぜひNPO PTPL事務局までお知らせください。よろしく願いいたします。

「新米」も10月の季語です。

「新米に まだ草の実の 匂ひかな」与謝蕪村

秋の夜長、一句詠んでみるのもいいものです。NPO PTPL のホームページに「季語」のサイトがあるのでどうぞ参考にしてください。

http://www.plantatree.gr.jp/kigo/kigo_fall.html

二十四節気「霜降」。霜が降りる頃といっても、東京の初霜の平均は11月18日。福島では、11月9日。青森では10月29日。まだ少し先ですが、一日一日、確実に寒くなっています。栗ごはん、芋の煮っころがし、ほくほくのさつまいも、きのこ汁。おいしい旬の食をいただきながら、紅葉を愛で、枯れゆく秋の風情を楽しみたいものです。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ 事務局日より

- ◎ 霜降の節気の期間である10月27日(土)は「十三夜」です。十五夜の一ヶ月後であるところから「後の月」といい、名の月の最後の意味で「名残の月」とも呼ばれます。

十五夜とともに「二夜の月」といい、十五夜の「芋名月」に対して、枝豆や栗を備えるので「豆名月」とか「栗名月」の呼び名があります。

十五夜の月を見て、後の月を見ないのは「片見月」といって忌み嫌われた時代もありました。当日好天であれば、ぜひ、夜空を見上げてみてください。

- ◎ 小平支局からのお知らせ

10月28日(日)、小平市で「元気村まつり NPO フェスタ」が開催されます。小平支局長の池田さんを中心に、毎年ブースを出展しています。お近くの方は、ぜひ、覗いてみてください。

詳細はこちらをどうぞ。

<http://www.chokai.info/areanews/019065.php>

- ◎ 一日一回“ともいき暦”を。

自然の流れに寄り添い、自然のリズムに合った旧暦のある暮らしは、今の時代だからこそ大切です。人の身体も心も豊かにしてくれるもの、それが“ともいき暦”です。“ともいき暦”は21世紀に生きる人々の生活の知恵なのです。

- ◎ “ともいき便り”のご感想、ご意見をお寄せください。

いくつか、事務局に“ともいき便り”に関するご意見、ご感想が届いています。またの機会に改めて、ご紹介させていただきます。

つきましては、ぜひとも、“ともいき便り”のご感想、ご意見をお待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp